

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育研究（言葉・絵本）		岸 美桜	演習	1	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格選択必修			
学習目標	絵本の読み聞かせは、子どものことばの発達に好影響を与えられていると考えられている。保育現場における絵本の有効的な活用法を身につけるために、本演習では、乳幼児の言語発達、絵本の構造・種類・発展の歴史、効果的な教材作成について、習熟することを目標としている。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	乳幼児と絵本	保育における絵本活用の実際			
2	絵本論（1）	絵本の構造、絵本とはなにか			
3	絵本論（2）	「月刊こどものとも」の役割			
4	絵本論（3）	「絵を読む」こと			
5	絵本論（4）	だまし絵（トリックアート）と絵本			
6	しかけ絵本（1）	しかけ絵本の歴史、構造、種類			
7	しかけ絵本（2）	しかけ絵本の作成			
8	保育教材研究（1）	保育教材（エプロンシアター、パペット等）の作成			
9	保育教材研究（2）	保育教材（エプロンシアター、パペット等）の作成			
10	保育教材研究（3）	保育教材（エプロンシアター、パペット等）の作成			
11	口承文芸（1）	わらべうた、昔話			
12	口承文芸（2）	昔話絵本、パロディ絵本			
13	絵本史（1）	日本の絵本史（前期）			
14	絵本史（2）	日本の絵本史（後期）			
15	絵本とことば	絵本と言語発達の関係性			
参 考 書	クレヨンハウス「絵本スクール」クレヨンハウス 2007 鳥越信編「はじめて学ぶ日本の絵本史Ⅲ」ミネルヴァ書房 2001				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	普段から絵本に親しむ姿勢を期待する。期末に絵本の読書記録の提出を求める。保育教材の作成に関しては、布地等の準備が個々において必要となる。				
評価の方法と時期	評価方法：筆記試験（70%）、提出物（20%）、授業態度・出席数（10%） 評価時期：終了時に総括的に評価				